



竹内洋・東京センター長が読売・吉野作造賞受賞



第13回読売・吉野作造賞を受賞した竹内洋・関西大学東京センター長

関西大学人間健康学部の初代学部長を務めた竹内洋・関西大学東京センター長が、第13回読売・吉野作造賞を受賞した。受賞作は『革新幻想の戦後史』(中央公論新社)。日本の戦後史が単純な保守と革新の対立図式では要約できない複雑な構造を持つことを、膨大な文献資料と聞き取り調査によって解き明かしたことが高く評価された。贈賞式は7月10日、東京・丸の内のパレスホテル東京で行われた。竹内東京センター長は、首都圏における本学の拠点である東京センターでの支援活動とあわせて、今後もさまざまな研究・執筆活動を行うことを表明した。

竹内東京センター長の専門は、歴史社会学、教育社会学。3月9日には、竹内教授の定年退職に伴う最終講義が千里山キャンパスで開催され、多数の学生や教職員が聴講した。

大阪マラソン2012に関西大学が協賛

第2回大阪マラソン(大阪府・大阪市など主催)が、11月25日に開催される。既に定員(3万人)の5.2倍にあたる15万5482人の応募があり、抽選で出場ランナーが決定している。

昨年の第1回に引き続き、関西大学はオフィシャルスポンサーとして大会運営に協力する。給水所で活動する給水ボランティア400人をはじめ、応援団バトン・チアリーダー部など、沿道の観客とともに声援を送り大会を盛り上げる応援団も参加する。メンタルトレーニングなど、実践的なアドバイスが好評だった関西大学と大阪よみうり文化センターの公開講座は、今年も開催される。



昨年大阪マラソンで給水ボランティアを行う学生たち

サッカー日本代表・本田圭佑選手が本学で講演



サッカー日本代表の本田圭佑選手が6月15日、本学を訪れ、学生100人に向けて講演した。当日は本田選手と関大生が「競争社会の重要性」、「海外から見た日本」、「今後の日本に必要なもの」などをテーマに、近い距離でディスカッションを行った。学生たちは、世界の大舞台上で活躍する本田選手の言葉に目を輝かせて聴き入っていた。本田選手は講演後、学生からの質問に答え、最後に参加学生全員と握手をして本学を後にした。

大学院社会安全研究科博士課程後期課程開設記念シンポジウムを開催



関西大学は2010年4月に社会安全学部・大学院社会安全研究科修士課程を同時開設し、文理を学際融合した防災・減災分野である「社会安全学」の研究教育に着手した。「社会安全学」は、東日本大震災のような広域かつ複合的な課題解決のために必要不可欠であることから、本学部・研究科は社会の注目を集め、更なる期待を担うようになった。このような中、本年4月、社会安全研究科博士課程後期課程を開設した。

その開設を記念したシンポジウムが7月28日、高槻ミューズキャンパスで開催された。テーマは「クライシス・リーダーシップ～危機に対し経営者のリーダーシップはどうあるべきか～」。アーノルド・ホーイット氏(ハーバード大学アッシュセンタースタッフディレクター)、角和夫氏(阪急阪神ホールディングス(株)代表取締役社長、関西大学客員教授)、萩尾千里氏(株大阪国際会議場取締役相談役、関西大学客員教授)が講演。続いて、河田恵昭教授(社会安全学部長、大学院社会安全研究科長)も加わり、パネルディスカッションを行った。